

# 信頼を積み重ね、地域とともに歩む

胎内市地域おこし協力隊 椎谷陽一



## 自己紹介

名前 椎谷陽一（しいやよういち）

年齢 48歳

出身 新潟県長岡市（栃尾地区）

家族 妻、子ども3人の5人家族

趣味 ラジオを聞く、お酒を飲む

# 地域おこし協力隊とは

都市地域から地方に移住し、  
地域おこし支援や  
地域協力活動などを  
行いながら、  
地域への定住を図る取組



NEWメンバー


胎内市では6人が活動中

- 埼玉の大学に進学、卒業後は東京で暮らす
- フリーターをしながら舞台役者して活動
- 自然の豊かな環境で子育てをしながら、可能な限り自給自足で生活したいと考える
- 移住先を検討していく中で胎内市の地域おこし協力隊の募集と出会い、着任

地域おこし協力隊に着任するまで

- ▶ 地域と若者が共に育みあい、地方の持続可能性を高める
  - 「住民自身」により「ムラぐるみ」の地域おこしを後押し
  - 意欲ある若者のチャレンジを応援、具現化

## 胎内市協力隊の活動理念

- ①地域住民の地域への誇りの醸成支援
  - ②地域資源を活用した新たな価値の創出支援
- 

# 活動の進め方



地域のいろんな方々と  
触れ合い、交流を  
はかる



地域の困りごとや課  
題を聞く



地域にある資源で困  
りごとを解決できる  
ものがないか考える

活動內容



- ▶ 集落の棚田や畑で稲作等の農業をしながら、地域の活性化に向けて、やりたいことX（エックス）に取り組む

半農半X

- 作付面積：2反5畝
- 品種：コシヒカリ
- 収量：15俵（900キロ）

米作り



- 作付面積：300m<sup>2</sup>
- 品種：べにあずま、あまはづき、ゆきこまち、シルクスweet、ふくむらさき
- 収量：100キロ

さつまいも栽培



- ◆ 2025年05月05日 坂井まつり
- ◆ 2025年10月30日 グリーンツーリズム
- ◆ 2025年11月02日 山あいのちいさなお祭り
- ◆ 2025年12月25日 胎内やすらぎの家

坂井神楽保存会



- ◆ 2025年8月13日 スライム作り
- ◆ 2025年09月7日 BBQ
- ◆ 2026年02月1日 節分豆まき

坂井こども会



- 開催日時：2025年4月27日
- 参加人数：12名
- 内容：山菜採り後、そば処いちべえにてそば打ち

## 山菜採り & そば打ち体験



- 開催日時：2025年5月18日
- 参加人数：6名
- 内容：新潟食料農業大学の学生と田植え

## 田植え体験



- 開催日時：2025年9月20日
- 参加人数：5名
- 内容：新潟食料農業大学の学生と稲刈り

## 稲刈り体験



- 開催日時：2025年10月25日
- 参加人数：10名
- 内容：さつまいもの収穫

## ちいさな畑の収穫祭



- 2025年12月21日
- 参加人数：38名
- 内容：門松づくり後、いちべえのそばを食べる

門松づくり & いちべえのそば



地域とより繋がるために





## ① イベント、行事に参加する

イベントに参加することで自分の顔と名前を覚えてもらうと同時に住人の方々の顔と名前を憶える

例) お祭り、ちどり会、盆踊り、草刈り、感謝祭、さいの神等



## ②飲み会に参加する

飲み会に参加し、ざっくばらんに会話をすることで距離が縮まり、いろんな話ができるようになる

例) お祭り、ちどり会、盆踊り、草刈り、感謝祭、さいの神等



### ③頼まれたことを断らない

頼まれたことを断らずに協力することで信頼感を得る

例) 雪下ろし隊、集落の組織の会計、集落の直売所の売り子、集落のそば屋の店員等



## ④困ったら相談する

何か困ったことがあったら相談することで、住人の得意な分野や持っている道具等を把握する

例) 田植え・稲刈り体験に必要な道具、門松づくりの材料集め等

① イベント、行事は参加する

イベントに参加することで自分の顔と名前を覚えてもらうと同時に住人の方々の顔と名前を憶える

② 飲み会に参加する

飲み会に参加し、ざっくばらんに会話をすることで距離が縮まり、いろいろな話ができるようになる

活動に協力いただける体制構築

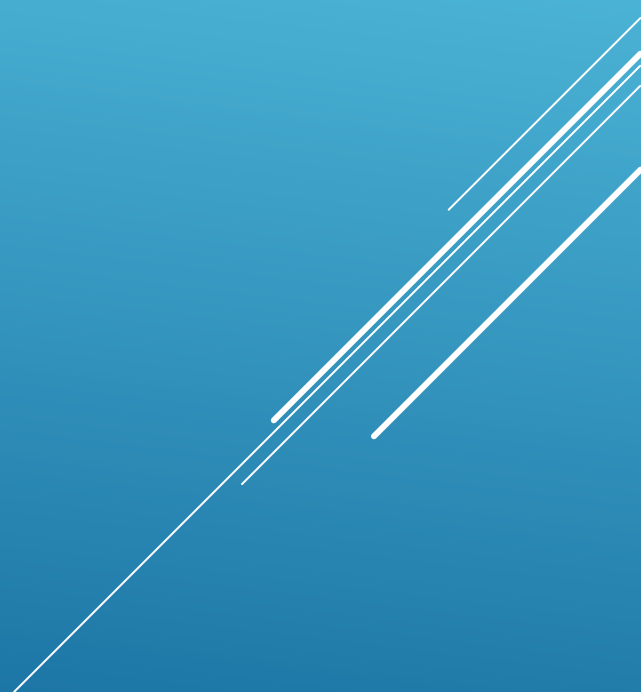
③ 頼まれたことを断らない

頼まれたことを断らずに協力することで信頼感を得る

④ 困ったら相談する

何か困ったことがあったら相談することで、住人の得意な分野や持っている道具等を把握する

半Xとしての生業



## imobe

【ちいさな畑のやきいも屋 いもべえ】

親子で種から育てる「芋育」体験 

減農薬やきいもをホクホクたべる 

笑顔が生まれるやきいも屋。

2025年11月から移動販売を開始 

## やきいもの移動販売



## ➤ ターゲット

子どもにいろいろな体験をさせたい、食育にも興味がある子育て中の保護者とその子ども達

## ➤ 提供する価値

やきいもの味、それを味わう時間、さつまいもの植え付け、収穫を通じた食育

## ➤ 強み

イベントを通して植え付け、収穫の段階からやきいもに関わることができ、その他の地域のイベントにも参加できる

親子の身体と心を笑顔にするやきいも屋

さつまいもの圃場



里の駅いちべえ



活用する地域の資源

## 地域の圃場を利用したさつまいもの栽培

収穫の一部をやきいもとして販売すると同時に、食育も兼ねた植え付け、収穫体験、集落との交流の場としても活用。

## 「里の駅いちべえ」を通じた販売

地域住民で運営する直売所の冬季の広報活動を目的に出張販売をスタート。

必要経費は組織の会計より拠出し、収入も還元する。

## いもべえのプレ営業開始

隊員の報酬を得ながら、いもべえの営業を隊員期間中に開始。

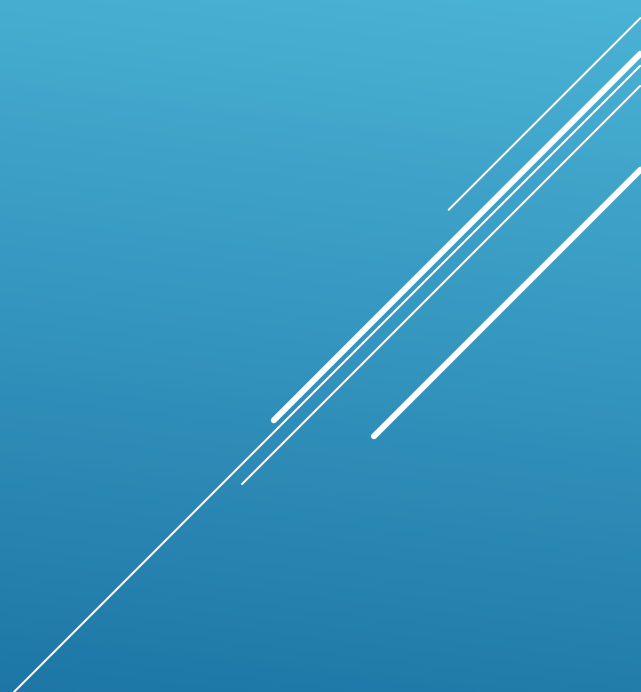
今後個人事業として営業する際の販売場所、客層のリサーチに活かす。

- きすげこども園
- ふたば保育園
- まごころ保育園たいない
- 樽ヶ橋遊園
- 胎内ふれあい逢菜館
- 胎内スキー場
- ふれすほ胎内
- コメリハード&グリーン中条店

## 販売場所



自分が地域にできること



農業とそれ以外の生業  
を掛け合わせて生活し  
ていける姿を見せる

農業や田舎生活に興味  
があっても踏み出せな  
い人達の一步を踏み出  
すきっかけになる

そうした人達が増える  
ことで地方が活性化し、  
持続可能な地域となる

ご清聴ありがとうございました

